事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	老人福祉センター運営事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	老人福祉法、野木町老人福祉センターの設置及び管理等に関する条例				
(3)事務事業 目的	高齢者の福祉の増進や教養の向上を図ることを目的として、社会活動や生きがいづくりを行う				
(4)事務事業 内容	指定管理による老人福祉センター管理運営事業 生活・健康等の相談支援、趣味活動・レクリエーション・講座等の実施等				
(5)対象者	すべての町民				
(6)成果指標	成果指標 1：利用者総数（名） 成果指標 2：講座等参加者数（名）				
(7)活動指標	活動指標 1：開所日数（日） 活動指標 2：講座等開催回数（回）				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔名〕	6,560	14,931	17,951
	成果指標 2	〔名〕			278
	活動指標 1	〔日〕	225	338	337
	活動指標 2	〔回〕			59
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	コミュニケーションを取ることができ、楽しみを増やせる生きがいづくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図ることができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①			
		県支出金	②			
		地方債	③			
		その他	④	214	198	181
		一般財源	⑤	19,127	16,101	15,359
	事業費	⑥	19,341	16,299	15,540	
	人件費	⑦	569	570	578	
	正職員数	⑧	0.1	0.1	0.1	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	19,910	16,869	16,118	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	789.0	672.1	645.7	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	老人福祉センター運営委員報酬	一般財源	0	無
2	公用車修繕料	一般財源	45	無	
3	役務費	一般財源	44	無	
4	老人福祉センター管理運営業務委託料	その他・一般	15,271	無	
5	公衆Wi-Fi使用料	一般財源	171	無	
6	自動車重量税	一般財源	9	無	
7					
8					
9					
10					

(12)細事務事業に係る考察	事業費の大部分が指定管理への委託料であり、削減は困難である。 現在の指定管理は令和8年3月までとなっている。 なお、委員報酬については、必要に応じて運営委員会を開催することとしている。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	在宅福祉事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町高齢者等在宅福祉事業実施要綱、野木町軽度生活援助事業実施要綱、野木町おむつ等購入助成事業実施要綱、野木町高齢者通院時タクシー等利用助成事業実施要綱、野木町高齢者外出支援事業実施要綱、野木町高齢者等見守りキーホルダー事業実施要綱 等				
(3)事務事業 目的	要配慮高齢者、ひとり暮らし高齢者等に対し、在宅生活支援サービスを提供することにより、総合的な保健福祉の向上に資すること				
(4)事務事業 内容	配食サービス事業、外出支援サービス事業、軽度生活支援事業、地域福祉ネットワーク事業（心配ごと相談、法律相談、介護・高齢者相談等）、緊急通報装置、おむつ等購入費助成事業、高齢者通院時タクシー助成事業、高齢者外出支援事業				
(5)対象者	65歳以上の町民 ※事務事業の内容により異なる				
(6)成果指標	成果指標 1：配食サービス配食数、成果指標 2：外出支援サービス利用者数（延べ）、成果指標 3：軽度生活支援利用者数（延べ）、成果指標 4：緊急通報装置設置台数、成果指標 5：おむつ等購入費助成人数、成果指標 6：高齢者通院時タクシー助成人数（延べ）、評価指標 7：高齢者外出支援申請者数				
(7)活動指標	野木町高齢者福祉サービス一覧を作成し、区長・自治会長会議、町ホームページ、各種出前講座の際に周知等を実施				
(8)目標達成状況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔件〕	1,881	2,162	2,014
	成果指標 2	〔名〕	41	66	49
	成果指標 3	〔名〕	171	219	273
	成果指標 4	〔台〕	193	186	183
	成果指標 5	〔名〕	38	35	34
	成果指標 6	〔名〕	301	363	280
	成果指標 7	〔名〕			211
(9)成果・効果	介護保険サービスにはない、高齢者福祉サービスを実施することにより、高齢者の日常生活の支援を行うことができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①			
		県支出金	②			
		地方債	③			
		その他	④	1	1	1
		一般財源	⑤	18,033	15,979	16,060
	事業費	⑥	18,034	15,980	16,061	
	人件費	⑦	1,138	1,139	1,155	
	正職員数	⑧	0.2	0.2	0.2	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	19,172	17,119	17,216	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	759.8	682.1	689.8	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	消耗品費	一般財源	49	無
2	委託料	その他・一般	11,706	無	
3	緊急通報装置センター使用料	一般財源	2,412	無	
4	扶助費	一般財源	1,893	無	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(12)細事務事業に係る考察	在宅福祉事業の多くが、利用者が費用を要さない事業または助成事業であるため、利用者に一部費用負担をしていただくことにより、コスト削減は可能であるが、現状は困難である。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	敬老事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町敬老祝金条例、野木町敬老事業補助金交付要綱				
(3)事務事業 目的	老人福祉の向上及び地域住民の敬老意識の高揚を図ること				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老記念品（祝詞、タオル）等の送付 ・分館等に対する敬老事業補助金の支給 ・敬老祝金の配布 				
(5)対象者	75歳以上の町民 ※祝金は77、88、95、100歳				
(6)成果指標	成果指標 1：記念品の送付者数 成果指標 2：祝金の配布者数				
(7)活動指標	広報のぎにおいて祝金配布を周知 活動指標 1：敬老事業補助金の支給件数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔名〕	3,412	3,768	3,909
	成果指標 2	〔名〕	493	423	377
	活動指標 1	〔件〕	5	5	5
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	コミュニケーションを取ることができ、楽しみを増やせる生きがいづくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図ることができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	6,308	6,108
	事業費	⑥	6,308	6,108	6,471
	人件費	⑦	1,138	1,139	1,155
	正職員数	⑧	0.2	0.2	0.2
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	7,446	7,247	7,626
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	295.1	288.7	305.5

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	敬老記念品	一般財源	983	無
2	消耗品費	一般財源	212	無	
3	郵送料	一般財源	825	無	
4	電算処理業務	一般財源	19	無	
5	敬老事業補助金	一般財源	542	無	
6	敬老祝金	一般財源	3,890	有	
7					
8					
9					
10					

(12)細事務事業に係る考察	令和3年度に敬老祝金の対象者の見直し（8区分→4区分に変更）を実施したが、今後も必要に応じて見直す必要があるため、コストを削減できる可能性を「有」とした。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	当面の間は、現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	シルバー人材センター運営事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	老人福祉法、高齢者等の雇用の安定等に関する法律				
(3)事務事業 目的	高齢者の就業機会の増大を図り、活力ある地域社会づくりに寄与すること				
(4)事務事業 内容	高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく補助金の交付				
(5)対象者	60歳以上の町民				
(6)成果指標	成果指標 1：会員数				
(7)活動指標	広報のぎにおいてシルバー人材センター主催事業の周知を実施 補助金の交付				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔名〕	260	219	260
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔 〕			
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	補助金の交付及び広報誌による周知を通し、高齢者の就業機会の創出を図ることができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	7,800	7,800
	事業費	⑥	7,800	7,800	8,116
	人件費	⑦	569	570	578
	正職員数	⑧	0.1	0.1	0.1
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	8,369	8,370	8,694
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	331.7	333.5	348.3

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	修繕料	一般財源	118	無
	2	高木剪定業務	一般財源	198	無
	3	町シルバー人材センター補助金	一般財源	7,800	無
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	修繕料及び高木剪定業務は必要に応じて予算措置している。 補助金については、国庫補助と同額を補助しており削減は困難である。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	町老人クラブ等補助事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町補助金等交付規則				
(3)事務事業 目的	高齢者の生きがいと健康づくり、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上				
(4)事務事業 内容	町老人クラブ及び町老人クラブ連合会に対する補助金の交付				
(5)対象者	60歳以上の町民				
(6)成果指標	成果指標 1：会員数				
(7)活動指標	町老人クラブ（14団体）及び町老人クラブ連合会（1団体）への補助金の交付 活動指標 1：補助金の交付件数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔名〕	622	603	576
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔件〕	15	15	15
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	補助金を通し、高齢者の生きがいと健康づくり、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上を図ることができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①			
		県支出金	②	498	500	495
		地方債	③			
		その他	④			
		一般財源	⑤	533	505	494
	事業費	⑥	1,031	1,005	989	
	人件費	⑦	569	570	578	
	正職員数	⑧	0.1	0.1	0.1	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	1,600	1,575	1,567	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	63.4	62.7	62.8	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	補助金	県、一般	989	無
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	補助金は、会員数に応じて変動するため、現在のまま様子を見ていきたい。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	ふれあいサロン事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町ふれあいサロン事業実施要綱、野木町ふれあいサロン運営補助金交付要綱				
(3)事務事業 目的	高齢者が住み慣れた地域で孤立することなく、楽しみと生きがいを見出し、生きいきとした生活が送れるよう支援するとともに、地域の助け合い精神の醸成を図り、もって地域福祉の推進に寄与すること				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町ふれあいサロンに対する補助金の交付、会場使用料の負担 ・健康器具の購入、健康づくりパンフレットの作成 				
(5)対象者	おおむね65歳以上の町民				
(6)成果指標	成果指標 1：延べ参加人数				
(7)活動指標	町ふれあいサロン（16サロン）への補助金の交付 活動指標 1：補助金の交付件数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔名〕	2,334	3,390	3,202
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔件〕	16	16	16
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	地域の公民館等を会場として、高齢者が趣味活動やレクリエーション、フレイル予防のための健康づくりを行うことができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①			
		県支出金	②			
		地方債	③			
		その他	④		261	309
		一般財源	⑤	1,907	1,776	1,736
	事業費	⑥	1,907	2,037	2,045	
	人件費	⑦	569	570	578	
	正職員数	⑧	0.1	0.1	0.1	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	2,476	2,607	2,623	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	98.1	103.8	105.1	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	需用費	その他、一般	7	無
	2	損害保険料	一般財源	202	無
	3	会場使用料	その他	302	無
	4	運営費補助金	一般財源	1,534	無
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	運営費補助金は、サロンの登録人数及び開設日数によって変動するため、現在のまま様子を見ていきたい。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	地域いこいの場事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町地域いこいの場事業実施要綱				
(3)事務事業 目的	在宅の高齢者、障がい者、子育て世帯等、地域で生活する様々な住民が憩い、相互に交流を図ることができる拠点を整備し、関係機関と連携して、閉じこもり防止、生きがいづくり及び健康づくり活動を包括的に支援すること				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、月・木曜日に地域いこいの場「ひまわり」の開設（令和4年4月から実施） ・事業の周知及び運営サポーターの募集等 				
(5)対象者	すべての町民				
(6)成果指標	成果指標 1：参加人数				
(7)活動指標	活動指標 1：実施日数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔名〕		705	707
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔日〕		93	94
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	令和4年4月から事業を開始し、町民の方々が相互に交流を図ることができる拠点として活動を行うことができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤		327
	事業費	⑥		327	327
	人件費	⑦	0	1,139	1,155
	正職員数	⑧		0.2	0.2
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	0	1,466	1,482
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	0.0	58.4	59.4

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	サポーター謝礼	一般財源	201	無
	2	需用費	一般財源	62	無
	3	傷害保険料	一般財源	64	無
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	サポーターは1回あたり3名体制（1人700円）で実施しており、削減は困難である。需用費、保険料についても最低限の費用で実施しているため、現状のまま様子を見ていく。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	重層的支援体制整備事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町地域包括支援センターの人員等に関する基準を定める条例、野木町地域包括支援センター運営事業実施要綱、野木町生活支援体制整備事業実施要綱、野木町介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱				
(3)事務事業 目的	「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施すること（一つの支援機関だけでは解決に導くことが難しいような複雑な、複合的な課題を持つ方（家族）をサポートするための体制を作る事業）				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター運營業務 ・生活支援体制整備事業 ・地域介護予防活動支援事業 				
(5)対象者	すべての町民				
(6)成果指標	成果指標 1：プラン作成件数（包括） 成果指標 2：フレイルサポーター養成講座受講者数（延べ）				
(7)活動指標	活動指標 1：相談件数（包括） 活動指標 2：協議体会議の開催数 活動指標 3：フレイルサポーター養成講座開催数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔件〕	3,217	3,765	4,092
	成果指標 2	〔名〕		17	12
	活動指標 1	〔件〕	4,263	4,922	4,801
	活動指標 2	〔回〕	1	1	1
	活動指標 3	〔回〕		1	2
(9)成果・効果	令和4年4月から事業を開始し、各機関が連携しながら事業を実施することができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①	16,744	18,178
		県支出金	②	8,375	9,092
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	17,657	20,857
	事業費	⑥		42,776	48,127
	人件費	⑦	0	1,139	1,155
	正職員数	⑧		0.2	0.2
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	0	43,915	49,282
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	0.0	1,749.7	1,974.4

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	傷害保険料	一般財源	0	無
	2	委託料	国庫、県、一般	48,127	無
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	傷害保険料については、講座の内容により必要になるため、現状維持としたい。 委託内容については、随時検討していく必要がある。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	一般介護予防事業費				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱				
(3)事務事業 目的	高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、人と人とのつながりを通じて参加者や 通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、地域においてリハビリ テーション専門職を生かした自立支援に資する取り組みを推進し、要介護状態になっても生きが い・役割をもって生活できる地域の実現を目指すこと				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運動教室（元気アップ教室、元気はつらつ教室）の開催 ・サロン等への専門職等の派遣 ・リハビリテーション活動支援事業 				
(5)対象者	おおむね65歳以上の町民				
(6)成果指標	成果指標 1：元気アップ教室参加者数（延べ） 成果指標 2：元気はつらつ教室参加者数（延べ）				
(7)活動指標	活動指標 1：元気アップ教室開催回数 活動指標 2：元気はつらつ教室開催回数 活動指標 3：講師派遣回数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔名〕		489	268
	成果指標 2	〔名〕			283
	活動指標 1	〔回〕		59	51
	活動指標 2	〔回〕			22
	活動指標 3	〔回〕	120	167	145
(9)成果・効果	運動教室については、定期的に内容の見直しを実施している。 現在は、運動教室及び出前講座を中心に実施し、フレイル予防に取り組んでいる。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①	149	302	320
		県支出金	②	93	189	200
		地方債	③			
		その他	④			
		一般財源	⑤	502	1,017	1,078
	事業費	⑥	744	1,508	1,598	
	人件費	⑦	1,138	1,139	1,155	
	正職員数	⑧	0.2	0.2	0.2	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	1,882	2,647	2,753	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	74.6	105.5	110.3	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	健康相談補助者報酬	一般財源	89	無
	2	講師謝礼	国、県、一般	1,099	無
	3	費用弁償	一般財源	1	無
	4	需用費	一般財源	206	無
	5	保険料	一般財源	83	無
	6	委託料	一般財源	120	無
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	講師謝礼は、体操教室や講師の派遣件数が多く、削減は困難である。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	在宅医療・介護連携推進事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱				
(3)事務事業 目的	医療や介護福祉に関わるさまざまな専門職種が、互いの専門性を活かして連携していく				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携研修会 ・在宅医療出前講座 				
(5)対象者	医療や介護福祉に関わる専門職種の方				
(6)成果指標	成果指標 1：研修会への参加者数				
(7)活動指標	活動指標 1：研修会の開催回数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔名〕		31	43
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔回〕		1	1
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	医療や介護福祉に関わるさまざまな専門職種が集う貴重な機会となっている。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①	7	20	21
		県支出金	②	3	10	11
		地方債	③			
		その他	④			
		一般財源	⑤	7	23	23
	事業費	⑥	17	53	55	
	人件費	⑦	569	570	578	
	正職員数	⑧	0.1	0.1	0.1	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	586	623	633	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	23.2	24.8	25.3	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	講師謝礼	国、県、一般	40	無
2	需用費	一般財源	15	無	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(12)細事務事業に係る考察	必要最低限の内容のため、削減は困難である。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	

事務事業評価シート

作成：健康福祉課高齢対策係

(1)事務事業	認知症地域支援・ケア向上事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町認知症総合支援事業実施要綱				
(3)事務事業 目的	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるようにする				
(4)事務事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症カフェ ・ 認知症予防教室 				
(5)対象者	認知症の方及びそのご家族、認知症に興味のある方				
(6)成果指標	成果指標 1：認知症予防教室の参加者数 成果指標 2：認知症カフェの参加者数				
(7)活動指標	活動指標 1：認知症予防教室の開催回数 活動指標 2：認知症カフェの開催回数				
(8)目標達成状 況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標 1	〔名〕		19	26
	成果指標 2	〔名〕	20	134	146
	活動指標 1	〔回〕		1	3
	活動指標 2	〔回〕	4	12	12
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	認知症に対する理解の促進、また本人や家族が集まる機会を設置することにより、徐々に住みやすい環境になってきている。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	実績	
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①	25	30	74
		県支出金	②	13	15	37
		地方債	③			
		その他	④			
		一般財源	⑤	28	33	111
	事業費	⑥	66	78	191	
	人件費	⑦	569	570	578	
	正職員数	⑧	0.1	0.1	0.1	
	トータルコスト ⑥+⑦	⑨	635	648	769	
	住民基本台帳人口	⑩	25,233	25,099	24,960	
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕	⑪	25.2	25.8	30.8	

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	講師謝礼	国庫、県	96	無
	2	需用費	県、一般	89	無
	3	保険料	一般財源	6	無
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	必要最低限の内容のため、削減は困難である。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら継続して実施していく。	